



清 央 小 だ よ り

令和5年度 第21号
2023.12.21 文責 室田和宏

教 育 目 標 「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」
・自ら学び工夫する子ども (考える)
・元気でがんばる子ども (鍛える)
・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)

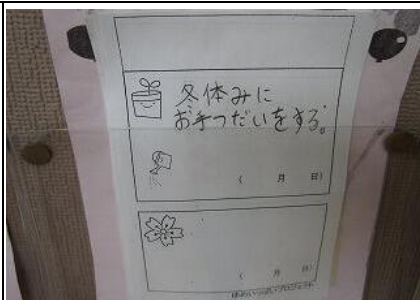
一期一会！そして評判はうなぎのぼり！

産休に伴って担任が交代する、5年生の教室に行き、新担任を紹介がてら話をする機会がありました。これから清央小を背負ってもらう5年生ですから、4月からの頑張りを称賛し、最上級生としての責任を引き継ぐ今後に向けて期待を伝えました。実は、この秋から冬にかけて、5年生の体育の授業を眺める機会が増えました。担任は「子どもたちが準備や片づけはばっちりやってくれますから、負担になりません大丈夫です！」というものの……。正直ちょっと心配で様子をうかがっていたのですが、その不安はすぐに一掃されました。跳び箱の学習の際など、準備や片づけはなかなかの大仕事なのですが、5年生は、自主的に手分けし協力しながらとても速やかに行っています。難しい技もありましたが、補助をしっかり行い、とても安全に、新しい技に挑戦する姿がありました。

このことを引き合いに、こう話しました。「赤ちゃんがいる〇〇先生と学習をしてきたことで、皆さんはよりたくさんのことを考え、身に付けることができたようです。最上級生になる皆さんの今の姿は、とても頼もしいです。先生方からの評判も「うなぎのぼり」ですよ。期待しています。」新しい年が近づいてきます。伝統がこうして後輩たちへと受け継がれていく時期にさしかかりました。



中学校の先生の乗り入れ授業



12月の夢プロカードには・・・



6年生たばこに関する出前講座

さて今、シリーズ紹介している「働き方改革とカリキュラムマネジメント」。清央小では、次のような業務改善に取組み、子どもたちに向き合う時間の質の向上を目指してきました。

- 欠席、遅刻等の連絡のオンライン化と配付プリントのデータ化（さくら連絡網）
- 通知票の見直し（所見欄の記述内容の整理と統合）
- 学校行事の精選と実施方法の工夫（農園活動、収穫祭、運動会、儀式等）
- 職員会議、打合せの効率化と内容の精選（ミライム電子掲示板の活用により時間削減）
- PTA活動の効率化と連絡等のオンライン化による職員の負担軽減・・・感謝！
- 地域協議会（地域学校活動推進員）が行う地域人材の調整による負担軽減・・・感謝！

今回取り上げるのは「授業時数の適正化」です。

働き方改革とカリキュラムマネジメント＜シリーズ③授業時数の適正化＞

今年6月に閣議決定された「骨太の方針2023」を受け、中央教育審議会（文部科学省）から緊急に取り組むべき施策が提言され、その中で、2024年度からの3年間を集中改革期間とすることが示されました。そこで挙げられたことの一つに、「各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し」がありますので、今回は「授業時数の適正化」について触れたいと思います。標準授業時数を大幅に上回っている例として“1,086時間（5年生）以上計上している学校が20%以上ある”と挙げられましたが、今年の本校の5年生の計画時数が正に1,086時間でした。これは、令和4年度から、朝のモジュール学習（次号以降で触れる予定です）の研究をしてきた成果でもあるのですが、予備時数としてさらに33時間計上できています。1,2年生では予備の時数がさらに多く、70時間を超えています。提言の中では“授業時数については年度替わりを待たずに改善を・・・”とも述べられています。子どもたちの負担過多にもつながりかねないことなので、清原地域学校園の運営会議においても協議し、各校で方策を練っているところです。次年度に向け、週のプログラムや時間割の改善、時数の削減等について、研究の成果をもとに、しっかり検討したいと思います。